

つくば研究所再開

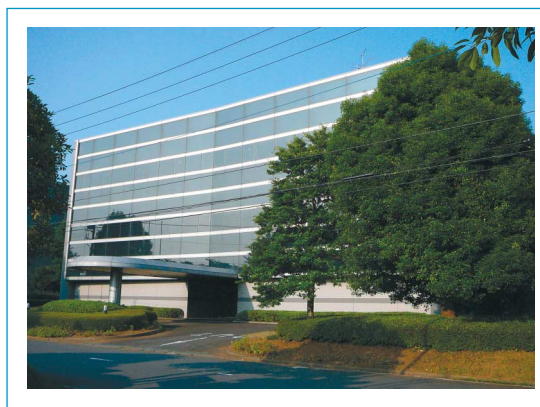
2000年10月から約5年半に亘って、諸般の事情により休止した当社つくば研究所は、今年5月22日より再開しました。長期的な視点に立ち、将来の新規事業創出のためのシーズ探索とそのインキュベーションが研究所再開の主たる目的です。

つくば地区には独立行政法人産業技術総合研究所を始め多くの研究機関が集まり、最先端の研究が行われています。研究機関連携も様々な形で行われて、当社の研究活動に良好な環境を提供してくれます。

つくば研究所は東光台研究団地に位置する筑波研究コンソシアム内の既存の建屋を使用し、少数精鋭で技術ポテンシャルの高いメンバーで構成されています。研究分野はメカトロニクス、ロボティクス、ライフサイエンス等の幅広い分野を対象として、従来の技術的な枠組みに囚われない探索研究を行っています。

昨年秋よりつくばエクスプレスが開通して、都心から1時間以内でアクセス出来るようになり、沿線の開発も大きく進んでい

ます。今後更に発展する地域で、将来の新規事業創出のための探索研究に邁進して参ります。



つくば研究所

■お問合せ先:
技術開発本部 開発研究所 つくば研究所
Tel (029)848-1666 FAX (029)848-1667

下水道展 '06大阪 開催

2006年7月25日から28日に、大阪市・インテックス大阪で下水道展(日本下水道協会主催)が開催されました。電機メーカーをはじめ、機械、土木、管路、コンサルタントなど下水道の設計・建設から維持管理に関わる約340社が出展し、来場者も約8万人を超える盛況ぶりでした。当社ブースにも約700人のお客様にご来場頂きました。

当社は、「水環境に貢献する安川電機」をテーマに、「処理水の高度化と雨水対策」をキーワードとして、

- 殺菌、脱臭、脱色などを行うため、省スペース、省コストを実現した「オンサイトオゾン水処理装置」
- 雨天時に流入量を予測し、ポンプ運転により浸水防除などの支援を行うため予測精度が高く、地域の変化に対応可能な「雨水流入量予測」

のデモンストレーションを行い、来場者の関心を集めました。

また、その他にも

- 処理場の最適運転を支援する下水水質シミュレータ
- 現場盤レスによりコスト縮減を実現したハンディターミナル制御システム
- 省エネに貢献する高圧インバータ、マトリクスコンバータ
- オゾン・キャビテーションの汚泥減量化システム(参考出展)



会場風景

など、多くの展示品を出展しました。

特に汚泥減量化システムは、汚泥の最終処分場の残余年数が厳しくなっている社会問題や、それを受けた処分費用の高騰など汚泥に関わる問題を解決する一つの手段となるため、今後の製品化が期待されます。また、同時に開催されました第43回下水道研究発表会にも当社技術を発表し、多くの質問を受け、大きな関心を持って頂きました。

■お問合せ先:
システムエンジニアリング事業部 システム工場第2技術部開発チーム
Tel (0930)25-2018 FAX (0930)23-3402